

平成15年度(特)日本障害者スキー連盟第1回理事会議事録

日 時：平成15年9月27日(土)14:00 - 17:30

場 所：全国身体障害者福祉センター「戸山サンライズ」

出席者：田村、伊佐、目黒、安江、田中、秋田、荒井、斎藤、坪井、野村、平野、石川、大成、大久保、河井、菊地、佐藤、新藤、松井、米谷、佐川監事

委 任：野澤、傳田、古村、水沢、沖川幹事

オブザーバー：土崎庸子

会長あいさつ(田村会長)

H14年度第2回理事会議事録確認

議事録署名人選出(秋田常任理事、大久保理事を選出)

<報告事項>

以下の報告があり、承認した。詳細は資料参照。

1. 常任理事会報告

H15年1月より2ヶ月に1回実施した。

2. 事務連絡会議報告

H14年10月より、正会員団体と各部総務の連絡調整を目的に月1回実施した。

3. 強化部報告

5月のFISD会議には松井理事に出席してもらった。10月も出席を依頼している。アジェンダが届きしだい、SAJと調整する。

4. 普及部報告

特になし

5. 正会員団体報告

特になし

6. 医学委員会報告

特になし

7. 事務局報告

1) スポーツコーチ協議会より群馬の大塚氏の役員派遣依頼があり、HSAJの推薦でスポーツコーチを取得したことから大塚氏の派遣を了承した。今後連盟でも役割を負ってもらおう。

2) 学研より「障害者スポーツの本」が出版される予定で協力依頼があった。正会員団体と連盟で対応する。

<審議事項>

第1号議案 平成14年度事業報告

事務局：障害者スキー教本『ボールドトラックス』(SIA編)に出版協力した。野村理事を通じて販売しマージンを連盟の収入とした。

アルペン、クロカンのH14年度ポイントランキングが確定した。

NPOとしての東京都への報告様式を確認した。

強化部：デフリンピック総監督にろうあ連盟より派遣依頼があり荒井理事を派遣した。アルペン、スノーボードで金メダルを獲得した。

ノルディック世界選手権に選手役員を派遣し、新田選手が金メダルを獲得した。

ID選手がインカレに特別枠で参加した。

アルペンWCに選手役員を派遣し、佐々木選手が銀メダル、森井選手が銀メダルを獲得した。世界選手権の出場資格を14選手が獲得した。

普及部：バイスキーとブラインドスキーの指導者研修会を実施したが、参加者のスキー技術に差がありすぎて問題が出た。スポーツ指導員協議会東北ブロックより助成をいただいた。参加者については今後申込時に調整する。

2003JP：クロカンは青森で、アルペンは岩手での開催となった。大雪のため、アルペンは1レースがキャンセルとなった。

正会員団体 ID：H14年11月に発足し4団体目の加盟団体となった。講習会中心の大会を実施し56選手が集まりJPに向けて選手を選出した。

以下の点について、追加報告することで承認した。

- ・2003ウィンターリゾートにブースを出展し、寄付があった。
- ・指導法講習会について資料を作成する。
- ・ジュニアキャンプを実施した。

第2号議案 平成14年度収支決算報告及び監査報告

野村事務局長：監事よりNPOとして東京都への報告書（p64 - 67）では内容が判らない、借入金が入収入にあることで収支の合計が違って判りにくいと指摘があったため、幹事より提出された資料に差し替え説明を行う。

会長、副会長、常任理事より75万円借り入れし短期負債となっている。

佐川監事：東京都への報告書式の変更はできないが、内部資料は代議員にわかりやすい形に変更した方がよいと考え、差し替え資料の形を提案した。各部の報告は速やかに事務局へ送付するよう依頼する。

総会提出資料を差し替えることで承認した。

第3号議案 役員を選任について

日本ろうあ連盟からの派遣理事が渡辺理事から米谷理事に変更された。

野村事務局長の選出母体がクロカンからFIDへ変更された。

平野理事がH15年度事業部を設立し部長及び常任理事に変更する。

野村理事の選出母体変更に伴い、クロカンから湯本氏を理事に追加する。

以下の点について変更し承認した。

- ・古村理事の職場欄を「自営」に、派遣団体を「日盲連」と変更する

- ・佐川監事の職場名にサービスを追加する。
- ・H S A Jの県協会については、身体を追加する
- ・組織図の訂正を行う。

第4号議案 平成15年度事業計画案及び収支予算案について

強化部：アルペン強化指定については、S A J Dポイント100以内、世界選手権派遣については、F I S - Dポイントで150以内（F I S Dで世界選手権出場権としている）を候補選手とした。

アルペン世界選手権は第一次エントリーが済んでいる。J P Cからは、選手10、役員8との非公式提示があるが、世界選手権出場権を獲得した選手は全員派遣したいと考え、選手16（ワイルドカード2含む）役員7で派遣を考えている。派遣候補選手については、今理事会で正式決定となる。

H 1 5年度競技者登録は8 / 3 1現在137名。

アルペン強化スタッフを増員し体制を整えていくため、正会員団体から総務担当を選出してもらった。チェアはこれから。

I Dからも田川選手が強化指定された。

普及部：指導者のネットワーク作りを推進していく。

事業部：2004 J Pでは、資料のような日程となっている。アルペンはS Gを、クロカンはスプリントレースを新規実施する。ろうあ連盟の選手の派遣を要請する。指導者研修事業として、1,793,000円の助成が付いている。指導法のカリキュラム整理の基盤作りをする。S A J、S I Aとの連携を考えており、事務局で取り扱う。

医学委員会：ドーピングマニュアルを作成し、研修会を実施する。ドクター、P Tを派遣する体制を整える。I P C公認のクラスファイヤーが少ないため、研修等を実施していく。

正会員団体

H S A J：全国大会は北海道名寄で開催、「障害者アルペンスキーポイントレース（S G、G S）」を新設したので、ぜひ参加を願いたい。

チェア：チャンピオンシップにS Gを行う。

I D：12月に初滑り、大会は同日開催であるが講習会と分離し選手権大会とする

事務局：各部署、正会員団体との連携を深めるために事務連絡会議を開催したが、各部署への連絡調整が進まなかったことと会議を減らすことから次年度は常任理事会に各部総務と正会員団体事務局をオブザーバー参加してもらう。

国際委員会として、F I S D公認大会を2005年シーズンに開催したいと考え、検討を始めている。ルールブックを連盟で和訳し販売していく。

広報委員会としては、H Pがうまく動いていない状況があり、選手にも誤解を与える事があるため、10月には更新する。

以下の点について確認、訂正の上、承認した。

・アルペンチームHPに9/24付けで派遣候補選手が掲載されている、との指摘があったが、これは、ワールドカップHPの世界選手権出場資格者の転記であり問題なし。連盟HPの更新作業の遅れもあるが、誤解を生じているため、連盟強化部から競技者登録者全員にきちんと情報を流していくことを確認した。

・WC、ECの自費参加希望の取り扱いについて基準を明確にした方がよい、との意見があり、強化指定選手で希望があれば、強化部が認めた役員が同行すること、自費での参加になる事を条件に認めることとした。ただし、世界選手権前のWCは世界選手権に向けたトレーニングの場と位置づけているため、希望は受け付けない。

・協会部総務がこれだけの人数必要か、との意見が出されたが、部員の決定は部の選任事項であることを再確認した。

第5号議案 入会金及び会費規定について

派遣理事以外の理事を正会員とすることで会費収入を上げる。

財政再建に向け、長期的には、強化選手、特にメダルを獲得できそうな選手を広告媒体にしてスポンサーを集めていく。

短期的には、賛助会員を理事の人海戦術で増やしていく。

そのためのチラシ、パンフレットを強化部と広報委員会との共同で早急に作成する。

理事については、担当制を敷き、役割を明確にしていく。

幹事より、支出についてはできる限り押さえていくよう意見が出され、原案どおり承認した。

第6号議案 専門部規定及び事務局規定について

連盟規定において会費の規定を設けてあるが、付則により設立時の条件を作っていたため、変更を提案する。理事に正会員になってもらうが、すでに入会済みであるため、入会金は免除する。

原案どおり承認した。

以上